

平成 21 年 4 月 2 日現在

研究種目：基盤研究（B）
 研究期間：2006～2009
 課題番号：18390593
 研究課題名（和文） 子どものヘルスプロモーション促進への基礎教育における外来看護実習と外来看護の構築
 研究課題名（英文） Development of Ambulatory Care Nursing Practice in Undergraduate Nursing Program and Ambulatory Care Nursing for Health Promotion of Children
 研究代表者
 及川 郁子（OIKAWA IKUKO）
 聖路加看護大学・看護学部・教授
 研究者番号：90185174

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・臨床看護学

キーワード：小児看護学、外来看護、ヘルスプロモーション、基礎教育、外来看護実習、看護プログラム

1. 研究計画の概要

本研究は、看護学基礎教育を行なっている大学と小児外来をもつ臨床現場が協同・連携して子どものヘルスプロモーションの促進に向けた看護プログラムを実践し、基礎教育における外来看護実習の位置づけの明確化と、子どものヘルスプロモーションに向けた外来看護のモデル構築を目指すことを目的としている。具体的には、

（1）国内外の子どものヘルスプロモーションや外来看護に関する資料・情報収集の実施

（2）外来看護実習の受け入れ状況、実習実施状況について医療機関、教育機関の調査の実施

（3）子どものヘルスプロモーションに向けた看護プログラムの開発と実践評価

（4）子どものヘルスプロモーションを支えるための外来看護の検討と提言

（5）看護基礎教育における外来看護実習カリキュラム案の提案

2. 研究の進捗状況

（1）文献検討および海外視察：特に日本では外来看護としての子どものヘルスプロモーションに関する文献は少なく、イギリスの大学 2 箇所および子ども病院等 4 箇所の見学・意見交換を通して、子どものヘルスプロモーション支援のための基礎教育と実践との連携について検討した。

（2）看護基礎教育機関および医療機関への全国調査とフォーカスグループインタビュー調査の実施：約 60%の基礎教育機関で 2 日以内の外来実習が行われているが、実習内容

を深めるための指導体制や時間、場の課題があげられていた。また医療機関においては、実習を受け入れている病院においては、学生の準備状態、指導体制についての課題が教育機関同様にあげられており、教育・臨床現場双方から課題解決策を検討していくことが示唆された。

（3）日本外来小児科学会のワークショップの企画・運営：継続的に外来看護の課題や実習について検討し、その内容を外来小児科に掲載している。

（4）看護プログラムの作成と実施・評価：子どものヘルスプロモーションに向けた看護プログラム 5 種類を作成した（診察・吸入・点滴・採血・予防接種）。現在アウトカムモデルに基づき、3つのプログラムを実践・評価している。3 プログラムは継続的に、2 プログラムは新たに実践評価を行う。プログラムの公開を通して外来看護師への啓発活動とヘルスプロモーションの外来看護実践を検討する。

（5）小児看護学における外来看護実習カリキュラムの検討：外来実習内容は、19 項目 92 内容について抽出し、具体的指導方法を含めて精選後、内容確認のための調査を実施予定である。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

（理由）

当初の計画内容から照らすと、（1）～（5）の内容すべてについて進めることができている。しかし、看護プログラムについてはま

だ新規に実践評価するものがあること、検討してきたものの公表が遅れていることなどが、 の理由である。

4. 今後の研究の推進方策

研究期間は残り1年間であるが、看護プログラムを継続的に進める計画はすでに出来ている。また、外来看護実習カリキュラム、外来看護の方略についても提言の見通しが立っており、特に問題はない。

5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計2件)

及川郁子、外来看護の検討(2) 外来小児科、査読無、11巻、2008、490

及川郁子、外来看護の検討(3) 外来小児科、査読無、10巻、2007、440-441

〔学会発表〕(計4件)

及川郁子他、子どもと家族のヘルスプロモーションに向けた外来での看護プログラム「診察ってなに？」の実践、日本小児看護学会第19回学術集会、2009年7月18日または19日、札幌市

長谷川桂子他、小児看護学における外来実習受け入れ病院・診療所の外来看護の現状と課題、第54回日本小児保健学会、2007年9月21日、前橋市

濱中喜代他、小児看護学における外来実習受け入れ病院・診療所の教育支援の現状と課題、第54回日本小児保健学会、2007年9月21日、前橋市

川口千鶴他、小児看護額における外来看護に関する基礎教育の現状と課題、日本小児看護学会第17回学術集会、2007年7月20日、松本市